

自動車用バイオエタノールの未来 –2040 年度 E20 導入を目指して– カンファレンス概要

主催：アメリカ穀物協会

共催：(一財) エネルギー総合工学研究所

バイオエタノール混合ガソリン (E10、E20) 導入に必要な施策と課題。第 17 回脱炭素燃料政策小委員会 (2024 年 11 月 11 日) および第 3 回合成燃料 (e-fuel) の導入促進に向けた官民協議会 (2024 年 12 月 25 日) において示された、資源エネルギー庁の「ガソリンへのバイオエタノール導入拡大に向けた方針」では、2030 年度に向けた E10 および 2040 年度に向けた E20 の導入目標が掲げられました。本カンファレンスでは、こうしたバイオエタノール導入の意義を社会に広く発信するとともに、関連産業における技術的課題についての理解を深め、社会全体での意見交換を目的とします。

開催日： 2025 年 6 月 19 日 (木曜日)

開催時間： 講演会 13:00~17:00 交流会 17:20~19:00

場所： イノホール&カンファレンスセンター

東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4 階 Room A [講演会]、Room B [交流会]

参加者： エタノール関係者、一般有識者、報道関係者 100 名

参加費： 無料

【プログラム案】

第 1 部 講演会 (13:00~17:00) 基調講演 40 分、各講演 20 分を予定。

開会挨拶 (13:00 – 13:10)：エネルギー総合工学研究所 理事長 寺井 隆幸

基調講演：乗用車の脱炭素に向けた道筋 –E10・E20 の導入に向けて– (仮題・13:10 – 13:50)
愛知工業大学 総合技術研究所 教授 近藤 元博氏 (脱炭素燃料政策小委員会 委員長)

講演案 (仮題：講演 20 分、質疑応答 5 分)：

- ガソリンへのバイオエタノール導入拡大に向けた方針 (13:50 – 14:15)：
経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部燃料供給基盤整備課 課長 永井 岳彦 氏
- E3・E7 の販売実績及び E10・E20 の導入の展望 (14:15 – 14:40)：
中川物産株式会社業務部 部長 河村 昌洋 氏
- 自動車業界でのバイオエタノール導入の意義と課題 (14:40 – 15:05)：
日本自動車工業会燃料・潤滑油部会 部会長 林 倫 氏
(休憩:15:05 – 15:15)
- バイオエタノールの導入に関する技術的課題 (15:15 – 15:40)：
エネルギー総合工学研究所カーボンニュートラル技術センター新エネルギーグループ 部長 森山 亮
- グローバルなバイオエタノール供給と将来の課題 (15:40 – 16:05)：
アメリカ穀物協会日本代表 浜本 哲郎
- E10 と E20 の着実な導入に向けて (16:05 – 16:30)：
日本環境エネルギー開発株式会社 代表取締役社長 澤 一誠 氏
- 石油業界でのバイオエタノール導入の意義と課題 (16:30 – 16:55)：
石油連盟 専務理事 鈴木 英夫 氏

閉会挨拶：アメリカ穀物協会顧問 東京大学名誉教授 横山 伸也 (16:55 – 17:00)

第 2 部 交流会 (17:20~19:00)

参加者同士の意見交換・ネットワーキングの場として、軽食・お飲み物をご用意いたします。